

# や こ ろ い こ ろ 県 P 連だより

Aの中で皆で話し合うべき重要なことは多々あったのですが、私の力量不足と、何よりも安全互助会の解散という激震に県PTAもさらされ、保険業務の停止の中で、残された互助会積立金の運用をめぐつて「検討委員会」を立ち上げ、時間とエネルギーをその事に取られた一年間であつたのは、正直事実でございます。ですが議論を重ねて、より良い方向にむかう道筋だけはつけられたかな、とい

の何のためのPTA活動か、ということでした。PTAの団結（結びつきの度合）は、子どもを中心としてたまたま同時期に、たまたま同じ所に住んでいた、ということを根拠としたものです。自らの意志で会社を選ぶとか、労働組合に入るとかとは意味合いが大きく異なります。あくまで子どもを通じて知り合っている保護者・教職員の関係です。いわば砂上の楼閣みたいなものでまことに縫やかなものです。ですから、誰かがあるいは一部

それもこれも目的は、冒頭に掲げた「すべては子どもたちの元気な笑顔のために」ということです。私たち保護者も教職員の先生方も、それが見たいから、それをエネルギーとしてもらって、はじめて学校生活が前へ進むと思います。もちろん誰よりも子どもたち自身にとって「元気な笑顔は一番大切な事だと考えます。

## 臨時総会

去る二月二十五日(日)、徳島県教育会館  
県PTA連合会臨時総会が開催されました

去る一月二十五日(日)、徳島県教育会館において徳島県PTA連合会臨時総会が開催されました。この総会は、PTA基金(仮称)検討委員会が過去四回の会合を重ね、意見の集約ができたので、総会に諮つたものである。

その結果、正式にPTA基金として発足（仮称を取り除く）。そして、基金の用途を賠償責任保険の加入と見舞金等の給付と、その他にし、規約を制定した。

特に、PTA活動中に負傷した場合にはお見舞金を、死亡した場合には弔慰金（PTA活動外であっても死亡した場合は弔慰金が出る場合がある。）を給付するようになつた。詳しくは事務局に問い合わせてほしい。これは十八年六月一日にさかのぼつて実施されるのと、無

資格運転、酒酔い運転、その他本人に瑕疵ある場合は原則として認められない（天災等も同じ）等の留意点がある。

発行 徳島市北田宮1丁目8-68  
〒770-0003 ☎088-633-1105  
徳島県PTA連合会

編集 総務広報委員会



すべては子どもたちの元気な笑顔のために

会長山田馨

のおかげで一番勉強したな  
あ、楽しかったなあと思つ  
ております。

こと、請け負います。  
子どもの「学力低下」や  
「安心・安全」ばかりが取

子どもの「学力低下」や  
「安心・安全」ばかりが取  
りざたされ、何だか身体と  
思考が縮むようなことばか  
りの今ではあります

子どもは目をキラキラさせ  
て前を向いていて欲しいも  
のです。子どもは「未来か  
らの使者」ですから、輝く

卷之三

県HTA会長としては  
一年間でしたが、本当にあ  
りがとうございました。今

りがどうございました。今  
員の皆様のご協力に感謝由  
し上げます。

100

◆アンケート実施 平成18年10月  
 ◆対象地域 徳島市・鳴門市・名西郡・板野郡・小松島市・阿南市・勝浦郡・那賀町・海部郡・吉野川市・阿波市・美馬市・つるぎ町・三好市・三好郡  
 ◆対象 徳島県下の小学5年生と中学2年生・その保護者うちの約1割  
 ◆実施人数 小学5年生 803名 中学2年生 744名 保護者1450名  
 ◆回収数 小学5年生 763 中学2年生 667 保護者1257  
 ◆回収率 小学5年生 95% 中学2年生 90% 保護者 87%

## 徳島県下の小・中学生と保護者の意識調査より

## 大切にしたい子どもの「こころ」と「からだ」

徳島県PTA連合会 総務広報委員会では、県下の小・中学生とその保護者にアンケートを実施しました。アンケートの内容は食生活についてや友達関係、学校生活についてなど多岐にわたりましたが、今回は特に今、問題になっている「朝ごはん」についてのアンケート結果をとりあげてみました。



みんなそろって朝ごはん

**アンケートの結果より  
やはり「いじめ」はある**

問 あなたのまわり(お子さんのまわり)で、いじめのことを聞いたことがありますか?

子ども	保護者
①ある 48%	①29%
②いじめというが継続的なものではないと思う 16%	③ない 39%
③わからない 20%	④わからない 16%

社会問題化している「いじめ」は子どもが48%、保護者が29%「ある」と認識している。これに対してわたしたち大人はどうしたらよいのだろう。臨床心理士の葉田先生に親としての心構えを尋ねてみた。

子どもが学校でのつらい出来事を親に話すのは勇気がいるものです。仕返しが怖い、恥ずかしい、心配をかけたくない等の様々な気持ちは背景にあるからです。イラライしている、落ち込んでいる、学校を嫌がるなどのサインが見られたら、気をつけて子どもに目と心を向けましょう。

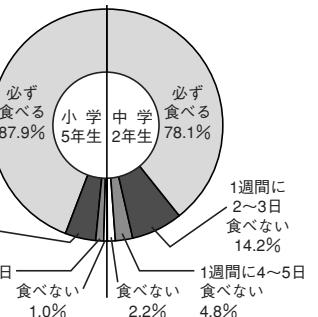
子どもの好物を夕食に入れたり、ゆったりと落ち着ける時間が持てるよう配慮したりするだけで元気になることもあります。子どもの好きなことを一緒にしながら、話しやすい雰囲気を作つてみるのもいいですね。もし、子どもから話が出たら、あわてず騒がずじっくりと話を聞きましょう。「よく話してくれたね」という気持ちで、子どもの思いを大切にしながら、具体的な解決策と一緒に考えてみてください。親子で向き合って話すことは、深い信頼関係を作るチャンスもあります。

『人と人の心のつながりをどのように考えていくのか』子どもたちから私たちへの大きな宿題ではないでしょうか。

臨床心理士 葉田 緑

- なぜ朝ごはんを食べないですか?
- 食べたときと食べないときを比べて体調はどうですか?

## 図3 朝ごはんを食べていますか?



1週間に2~3日食べない 8.5%

1週間に4~5日食べない 2.2%

1週間に2~3日食べない 14.2%

1週間に4~5日食べない 4.8%

食べない 1.0%

食べない 2.2%

食べない 4.8%

食べない 2.2%

## 第五十四回P全国研究大会みやざき大会に参加して

徳島市・名東郡中学校PTA連合会 副会長 長濱賢一

### 県家庭教育研究大会に参加して

徳島県PTA連合会 副会長 粟飯原一

1月23日、徳島県教育委員会、幼・小・中・高のPTA連合会の主催のもと、県内各地から950名の参加者を集め、徳島市立文化センター、徳島県青少年センターの両会場で盛大に開催されました。

本年度の研修主題は、「子どもの自立のために親にできること地域にできること」。

講師としてお招きした、汐見稔幸先生は、子どもたちを巻き込んだ世相を騒がせる事象に憂慮しながらも、家庭、地域が子育てに果たす役割を認識し、実行することにより楽しく平穏な家庭生活を取り戻せると、全国各地で講演活動を展開されています。

子育ての様子がここ30年程で大きく変化し、家庭が主な子育ての場所で、母親中心の子育てになっています。子どもを、口を使って家庭内で育てるしか仕方ない状況が、しっかりと定着してしまっています。

かつて私たちは、兄弟、祖父母、地域から、遊びの場の提供やしつけの面倒を、見てもらっていたことを思い出します。まさに「地域社会で放牧して子どもを育てる。そして時々、子どもたちは、家庭という安心できる厩舎に帰ってくる。」が存在していました。冒険心や社会性を植え付ける場所が確かに存在していました。

先生のお話を聞きながら、いつしか、自分たちの子ども時代の様子を思い出した参加者が、数多くいたのではないかでしょう。

子育て様式に変化を持たせるため、家庭においては「仕事重視の父親・母親を家庭にもどす。」地域社会では、「大人にとって快適な場所となってしまった地域を、子育ての場所にもどす。」が課題であり、有効な方策と考えられます。

私もひとりの父親として、子どもの成長を楽しみとし、満足感を持っているか、今一度自分自身を見つめ直してみたいと思います。「子どもの健やかな成長は、親への子育てのご褒美です。」先生からのエールのように思われました。

子どもの成長過程で、子ども自身に自尊感情を持たせる。これは自分自身を大切にすると同時に、他人を理解し思いやる心を、持たせることにもつながります。この自尊感情の低さが、社会問題となっている、いじめ、引きこもり、ニートなどに深く関わっています。

長年PTAの役員をさせていただき、研修会等に参加して思うことは、このような貴重な講演が、私たちにとって予防薬であってほしいと思います。決して治療薬にならないように、願うばかりです。

八月二十五日に総勢十八名の参加者で出発。交通機関の都合上、鹿児島経由で宮崎市に入りました。途中、西都原古墳・西都原考古博物館を見学し、古代の生活を学ぶと共に、宮崎の歴史の深さに触れました。私は、翌日の研究大会で、健康安全(食育)がテーマの分科会に参加することもあり、オーガニックの原点である古代食についての展示が強く印象に残りました。

二十六日からは、研究大会を概略すると、次の四点であります。

1、食は、身体だけではなく、心の成長にも大切な役割を担っている。2、現代の多

様化する社会環境・家庭環境を反映して、偏った食生活により、子どもたちの体力の低下・肥満を含む生活習慣病・低体温症など、身体の健康が損なわると共に、切れやすい子ども・コミュニケーションが図れない子ども・集中できない子どもなど、心の均衡を保つことが出来ない子どもが増加している。3、2の問題が学力低下にも影響を与えると考えられる。4、食育を考えることで、本来、大人が子どもに教えるべきこと、また、家庭教育と学校教育の在り方を見直す。

これらの課題について、七名の発表と討議がありました。私が強く感じたのは、発

うか?

さて、最終日の全体会では、私は、私を含め多くの方々がメディアでもおなじみの「夜回り先生」こと水谷修氏の記念講演を楽しみにワールドコンベンションセンターに向かいました。ところが、突然、水谷氏が講演をキャンセル。壇

上に上り自分の見解を述べ、方が、涙目で会場を去る方々に「すみません」と謝つてい

る姿を、私は忘れることができません。

あまりにも常識はずれであり、宮崎県PTA連合会の方々が、数年を掛けて準備して

きた労力や気持ちを台無しに

は言うまでもありません。

全日程を通して宮崎の方々の思いがよく表れていただけに、本当に残念なりません。

宮崎県も同じですが、徳島県内においても、その地域や学校規模によって出来ることに違いがあり、それぞれに合った方策を摸索・研究する必要があるように思いました。これらは、各県のPTA連合会の研究テーマではないでしょうか?

さて、最終日の全体会では、私は、私を含め多くの方々がメ

ディアでもおなじみの「夜回り先生」こと水谷修氏の記念講演を楽しみにワールドコンベンションセンターに向かいました。ところが、突然、水谷氏が講演をキャンセル。壇

上に上り自分の見解を述べ、方が、涙目で会場を去る方々に「すみません」と謝つてい

る姿を、私は忘れることができません。

あまりにも常識はずれであり、宮崎県PTA連合会の方々が、数年を掛けて準備して

きた労力や気持ちを台無しに

は言うまでもありません。

全日程を通して宮崎の方々の思いがよく表れていただけに、本当に残念なりません。

宮崎県も同じですが、徳島県内においても、その地域や学校規模によって出来ることに違いがあり、それぞれに合った方策を摸索・研究する必要があるように思いました。これらは、各県のPTA連合会の研究テーマではないでしょうか?

さて、最終日の全体会では、私は、私を含め多くの方々がメ

ディアでもおなじみの「夜回り先生」こと水谷修氏の記念講演を楽しみにワールドコンベンションセンターに向かいました。ところが、突然、水谷氏が講演をキャンセル。壇

上に上り自分の見解を述べ、方が、涙目で会場を去る方々に「すみません」と謝つてい

る姿を、私は忘れることができません。

全日程を通して宮崎の方々の思いがよく表れていただけに、本当に残念なりません。

宮崎県も同じですが、徳島県内においても、その地域や学校規模によって出来ることに違いがあり、それぞれに合った方策を摸索・研究する必要があるように思いました。これらは、各県のPTA連合会の研究テーマではないでしょうか?

さて、最終日の全体会では、私は、私を含め多くの方々がメ

ディアでもおなじみの「夜回り先生」こと水谷修氏の記念講演を楽しみにワールドコンベンションセンターに向かいました。ところが、突然、水谷氏が講演をキャンセル。壇

上に上り自分の見解を述べ、方が、涙目で会場を去る方々に「すみません」と謝つてい

る姿を、私は忘れることができません。